

特定非営利活動法人なかよし 2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

1. 事業の成果

(1) 事業所

①職員体制

職員体制については、2021年度を通して3名の常勤職員の退職、7名の非常勤職員の退職がありました。常勤職員のうち、1名は傷病手当満了後の本人の意向による退職、1名は嘱託契約満了による退職、1名は本人の希望による退職でした。これらの退職に伴う常勤職員の採用については、2月に1名、3月に1名、4月に1名の職員を迎えることができました。また、非常勤職員の採用については、4名を補充し、常勤職員で対応できる部分については常勤職員で対応しました。職員配置としては、「ひまわりの家」「元気ハウス」「グループホームなかよし」でおおよそ1名分の加配になっており、経済的な余裕はありませんが、提供している福祉サービスの質は高まっていると感じています。

②事業所の体制

2021年度からおこなっている法人改革を継続し、2021年9月に「デイサービスセンターあおぞら」と「デイサービスセンターなかよし」を統合し、中川区法華1丁目58番地に29名定員の「デイサービスセンターなかよし」を開設しました。

「デイサービスセンターなかよし」の移転に伴い、「ひまわりの家」の改修工事を行いました。1階の玄関の改装に加え、2階に法人全体が使用できるスペースを確保しました。また、外壁工事をおこない、ツートンカラーの新たな建物に生まれ変わりました。2階のスペースを有効活用するために、これまで事務所として使用していたスペースに「相談支援事業所なかよし」を移転し、食堂として使用していたスペースに「グループホームなかよし」の事務所を移転しました。これまで「グループホームなかよし」の事務所として使用していたスペースは、新たなグループホームの居室として利用するための工事をおこないました。

「ひまわりの家」・「グループホームなかよし」・「相談支援事業所なかよし」の事務機能の場所を中川区戸田5丁目304番地の本部と統合することで、法人内の連携が円滑におこなわれるようになりました。

③法人におけるICTの活用

2021年度より、法人内の連携を強化するために Microsoft Teams の活用を継続しています。Teams は事業所ごとのやり取りに加え、個人を繋げる役割も果たしているため、

利用者の情報共有だけではなく、職員間の連絡調整についても頻繁におこなわれるようになり、5ヶ所の事業所における連携体制がこれまで以上に強固になったと感じています。

(2) 法人財政について

法人全体として、障害福祉事業による健全財政を目指し、支援の質の低下が起きないための人員配置等、条件整備を確保しながら収入の向上を目指しました。今年度は、コロナウィルス感染症の影響にもかかわらず利用者数については一定数を確保することができ、経常収支としては、昨年度の減収から増収に転じることができました。

2021年度に取り組んだ事業の縮小及び事業所の統合が大きな要因になっていると考えられます。また、建物の保険・自動車保険・事務用品のリース等、必要経費についての見直しもおこない、経費削減に取り組んだことも影響していると考えられます。

一方で、法人運営における新たな経費として、購入したデイサービスセンターの固定資産税及び銀行からの借入金に関する利子があります。借入金については10年間の返済計画となっているため、今年度は1年目となり、残り9年の返済について利子が発生します。出来る限り返済を早めにおこなうことができるような運営を目指したいと思っています。

また、法人全体の改革途中であることから、昨年度は事業所の統合で必要となった「デイサービスセンターなかよし」の改築費及び「ひまわりの家」の改修費が重なり、財政面への大きな影響となりました。その他、継続的に課題となっているグループホームの空き状況があります。今年度は昨年度よりも減少したものの、グループホームでの空き部屋が続いています。この地域における新たなグループホームの建設が相次いでおり、新たな利用者の確保が難しい現状に対する対応策を考えなければならないと感じています。

(3) 労働環境の整備について

労働条件の環境整備として、令和4年2月に就業規則と給与規定の見直しをおこない、労働基準監督署に届出をおこないました。これまで取り組まれていなかったグループホームの宿直登録をおこない、グループホームかの里、あらか、戸田、横井でそれぞれ宿直がおこなえるようになりました。また、臨時処遇改善加算等の対応として加算の部分の見直しをおこないました。

(4) 学習会・研修会・全体会について

コロナウィルス感染症の影響もありましたが、今年度はできるだけ法人内の学習会を積極的におこなうことができるように、オンライン等を取り入れながら体制づくりをしてきました。また、外部の学習会についてもオンラインで参加する職員が増え、法人全体の支援の質の向上を図る取り組みを継続してきました。法人全体で取り組んだ活動については以下の通りです。

- * 全体会：9月21日（ひまわりの家2階）
- * 事例検討会：6月23日（グループホームなかよし、SV 中京学院大学荒井先生）
8月25日（ひまわりの家、SV 地域ケア協力センター大蔵先生）
11月2日（元気ハウス、SV 同朋大学大橋先生）
3月18日（デイサービスセンターなかよし、SV 札幌学院大学小林先生）
- * SST：12月13日（同朋大学吉田先生）

（5）あいされん・きょうされんの活動について

2021年度きょうされん活動では、zoomを利用して運営会議や第44回きょうされん全国大会などのイベントへの参加をしました。また、第45次の署名・募金活動については、前年度と同様、全国的な感染拡大から従来のような学習会や街頭募金はできませんでしたが、各事業所にて委員を主として署名への声掛けを行い取り組みました。第45次国会請願署名取り組み結果は、署名505筆、募金14,376円でした。その他の活動については、きょうされん物資の販売活動を通常通り夏季と冬季でおこないました。

あいされん・きょうされんの委員会、総会への参加状況

- 6月18日 第2回あいされん運営委員会
- 7月16日 第3回あいされん運営委員会
- 9月17日 第4回あいされん運営委員会
- 10月19日 第4回拡大精神部会
- 10月29日 第44回きょうされん全国大会
- 11月19日 第5回あいされん運営委員会
- 11月26日 名古屋市行政懇談会
- 12月17日 第6回あいされん運営委員会
- 2月18日 第7回あいされん運営委員会
- 3月18日 第8回あいされん運営委員会

（6）地域連携について

中川区の自立支援連絡協議会への各部会への参加については、昨年度に引き続きコロナウィルス感染症予防のため、オンラインでの参加が中心になりました。法人内部としては、自立支援協議会の部会を担当する職員を配置し、積極的に地域での取り組みへ参加するように働きかけました。

（7）広報活動・地域交流について

今年度は夏号・秋号・新年号の計3回で法人ニュースを発行しました。これまではできるだけ多くの事業所や関係機関へニュースを送付することが方針とされていましたが、改めて送付先の見直しをおこない、同じ機関や法人へ2通のニュースを送ることがないように整理しました。現在は正会員や賛助会員に加え、約200ヶ所の県内の関係機関や事業所に

ニュースを送付しています。また、ニュースの企画は単なる広報活動としての位置づけだけではなく、利用者が意見を出し、それが成果として型になる貴重な場となっています。今後も利用者と職員が合同で編集会議をおこない、意見を出し合いながらニュースの企画を実現していきたいと考えています。

法人ホームページについては、作成してからの更新がなかなかできず、今後の更新についての課題が残りました。さらに、地域交流については、これまで参加していた「おさんぽフリマ」「万場祭り」「平和行進」などが中止になり、交流イベントをおこなうことができずでした。外部への発信については課題が残ったものの、フードバンク等への積極的な働きかけによる内部のイベントを実現したり、出来ることからの取り組みを考える機会となったりしたので、今後も可能な範囲で広報活動・地域交流をおこなっていききたいと思います。

(8) 実習生について

今年度は、中部学院大学から精神保健福祉士の実習生 2 名、同朋大学から精神保健福祉士の実習生 2 名、社会福祉士の実習生 2 名を受け入れました。その他、「. j p (ドットジェーピー)」から 3 名のインターン生が夏休み期間中に活動参加しました。外部の学生等を受け入れることで法人内の職員の意識も高まり、自身の実践を振り返る機会にもなると考えられるため、今後とも受け入れられる範囲で、福祉の現場で働くことを希望する学生たちへの指導をおこなっていききたいと思います。

(9) コロナウイルス感染症について

コロナウイルス感染症対策下での運営も 2 年目となり、メンバーも職員も 3 密を避ける行動や定期的な手指消毒が日常的になりました。これまでは半日開所等をおこなっていましたが、感染予防を徹底し全日に対応するようになりました。

今年度の感染者の状況としては、令和 4 年 2 月 2 日「グループホームあらこ」で非常勤の世話人兼夜間支援員の感染を確認しました。感染した世話人の食事により、全ての利用者が濃厚接触者と判定されたことから、3 名が 1 週間の待機となりましたが、感染者は発生しませんでした。また、令和 4 年 4 月 1 0 日に「ひまわりの家」の利用者 1 名が陽性者となりました。感染発生前の 3 日間は利用がなかったことから、その利用者の対応をしていた職員 1 名のみ念のため 3 日間の待機としました。保健所に確認したところ、その職員を含め誰も濃厚接触者にはならず、休業措置を取らずに対応することができました。今年度の事業所内における感染はこの 2 件のみでしたが、相談支援の利用者で 1 名の感染者が報告されました。

法人全体として、コロナウイルス感染症対策を万全におこない、感染をできるだけ広げないようにするために、利用者や職員の日々の体調管理、手指消毒の徹底、マスクの着用、室内の換気、事業所の消毒などをおこないました。昨年度に引き続き、利用者の中には感染状況に病状が左右されてしまう方、マスクの着用が困難な方もみられ、対応に工夫が求められました。

(10) 正会員・賛助会員

正会員 30名

賛助会員 13名

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

①就労継続支援事業所

*めいせい元気ハウス（名古屋市中川区西伏屋2丁目1419番地）

総利用回数 4,222回、平均利用者数 17.2名、職員数7名（非常勤を含む）

*めいせいひまわりの家（名古屋市中川区戸田5丁目304番地）

総利用回数 4,227回、平均利用者数 17.2名、職員数7名（非常勤を含む）

②共同生活援助事業所

*グループホームなかよし（名古屋市中川区戸田3丁目1812-1）

総利用回数 8,836回、平均利用者数 24.3名

③デイサービス型地域活動支援事業

*デイサービスセンターなかよし（名古屋市中川区法華1丁目58）

総利用回数 3,303回、平均利用者数 13.4名

（4月から8月までのデイサービスセンターあおぞらを含む）

④特定相談支援事業所

*相談支援事業所なかよし（名古屋市中川区戸田5丁目304番地）

計画作成総数 213件

3. 会議の開催に関する事項

(1) 理事体制

新型コロナウイルス感染症下での法人運営も2年目となり、2021年の通常総会も書面表決が取り入れられ、少人数の理事により行われました。また、理事会も対面だけではなく、Zoomでの遠隔参加も含めて開催されるようになりました。2021年度に承認された理事8名、監事1名の役員体制で法人の安定運営に向けて取り組みました。

(2) 総会

第22回特定非営利活動法人なかよし総会

日時：2021年6月13日 10:00～12:00

場所：特定非営利活動法人なかよし本部

出席者：正会員数30名、出席5名、代理出席2名、書面表決17名、欠席6名

第一号議案	2021年度事業報告に関する件
第二号議案	2021年度決算報告・監査報告に関する件
第三号議案	2022年度事業計画に関する件
第四号議案	2022年度活動予算に関する件
第五号議案	2022年度役員に関する件

(3) 理事会

第一回	2021年5月31日	10:30~12:30	特定非営利活動法人なかよし本部
第二回	2021年7月26日	10:30~12:30	特定非営利活動法人なかよし本部
第三回	2021年9月27日	10:30~12:30	特定非営利活動法人なかよし本部
第四回	2021年11月29日	10:30~12:30	特定非営利活動法人なかよし本部
第五回	2022年1月31日	10:30~12:30	特定非営利活動法人なかよし本部
第六回	2022年3月28日	10:30~12:30	特定非営利活動法人なかよし本部